

## 「美祢市軽音楽部」の定例活動を見学しました。

山口県美祢市の市役所に隣接する施設で定例活動を行っている「美祢市軽音楽部」の定例活動を、2023年12月19日（火）に見学しました。



2校3名の中学生が練習にやってきました。いつもは、多い時で10名程度の中学生が集まるのですが、この日は体調を崩した生徒から昼過ぎに続々と連絡があったとのことで参加者が少なかったそうです。この週に入って急激に寒くなるなど寒暖の差が激しいので、無理もありません。私が到着した時には、すでに1名、中学2年生の生徒さんが来てベースの練習を始めていました。静かな部屋に、低音のベースが心地よく響きます。始めて2年弱とは思えないほどの指裁きにびっくりしていると、代表の白井さんが「中学生は上達が早いよね」と、目を細めておられました。

しばらくすると、中学3年生の生徒さんが2名合流。「ストーブで暖まって弾いたら？」との言葉をよそに、真っ赤に冷えた手でギターを弾き始めます。この時間をとても楽しみにしていた気持ちが伝わってきます。個々にパートを練習したり、セッションを楽しんだり、スマートフォンで楽譜を見ながら演奏したり、白井さんからのアドバイスを受けたりと、思い思いの時間を過ごしていました。学校の近況報告や次のステージの予定を共有しあったり、受験の話に



なったりと、おしゃべりも欠かせないように、楽しそうに談笑している姿が印象的でした。

人口2万3千人を切った美祢市は、出生数も年間約60名と少子高齢化が進んでいます。そうした中、白井さんは、子どもたちがちゃんと遊べる場、自分の成長の可能性を感じられる場を創出するため、通常の生活で体験しにくい軽音楽に触れる機会を持たせたいと生徒たちの居場所づくりを始められたそうです。今では、子どもたち自ら挑戦したいことを見つけ、パソコンを使って



作曲に挑戦する子、演奏するだけではなく、高校生になったら自らコンサートの企画に挑戦したいなど、自分できちんと考え行動をする子が出てきているとのこと。また、白井さんは社会福祉士として活躍しておられ、地域に出かけられる機会が多いとのこと。音楽を通して大人のバンドグループとも交流を深めています。コンサート前に急遽演奏メンバーが不足した地域のグループのところに生徒を派遣するなど、世代間を超えた交流の輪が広がっているそうです。

来年3月には、「ボクマチ ～ボクらの MARCH は止まらない!～」と題して、美祢市民会館においてコンサートを予定されています。音楽の MARCH と「まち」のいろいろな課題に立ち向かうことを止めない意味が込められた素敵なタイトルです。お近くの方は、足を運んでみられてはいかがでしょうか。

今回の見学では、白井さんの地域愛溢れる情熱と大人たちの背中を見て成長しようとする子どもたちを目の当たりにし、「音楽」を通じた活動に、町の発展の可能性を大いに感じました。

(本郷)